

No.126



竹内 清明

安政5年(1858)弘前に生まれ、黒石に転住。
明治41年、衆議院議員に当選、藩 閥の懸望により、青森県国民院
を解散して政友会に合同、黒輪をまとめ本県国営の各大事業を実施
させました。岩木川改修高橋工事の一つです。

竹内清明
(52cm x 37cm)

No.127



阿部 武智雄

文久元年(1861)北津軽郡七和村羽野木沢(現五所川原市)生まれ。
師範学校を卒業して教職にあったが、明治40年、県会議員に当選
しました。同42年、阿部氏ほか12議員の主張で岩木川改修促進の建
議が県会で異議一致で可決され、政府に提出されました。翌43年、
津軽1市4郡の県会議員、市町村長に賛同議員及び有志を加えて
岩木川改修期成同盟会を結成、阿部氏が初代会長となり尽力しまし
ました。また、大正6年に衆議院議員に当選し、翌7年、国産橋工事の着
工が実現しました。

阿部武智雄
(52cm x 37cm)

No.128



長尾 角左衛門

明治13年(1880)、北津軽郡三好村(現五所川原市)生まれ。
明治40年には北津軽郡会議員、大正2年三好村会議員、同7年県会
議員、昭和20年には三好村長、同29年に五所川原市議会議長などの
要職を歴任しました。その間、明治43年には岩木川改修期成同盟会
の創立に参加、昭和7年からは同会長として同23年まで在任、長期
間にかたり心魂を傾けてその改修事業にあたりました。その任を退
いた後も岩木川に対する愛護は少しも衰わることなく、昭和64年には
治水事業功労者として日本河川協会から表彰されています。そして、
同22年ころから資料を集め始め、18年の歳月をかけて同40年
12月、「岩木川物語」を書きあげました。85歳でした。同書は、岩
木川に関する貴重な資料の集大成として、高く評価され、今日も活
用されています。

長尾角左衛門
(52cm x 37cm)

その他

河川についての色々なこと、洪水・水害やその対策についてのこと、大正・昭和初
期の写真、風景写真などについてパネルとしてあります。

No.129

これからの川づくり

◆河川法改正の流れ◆



これからの川づくり
(74cm x 52cm)

主な改正点		改正事項
① 河川環境の整備と保全	河川法第1条の目的に位置づけ	改正事項
② 新しい河川整備の計画制度	基本方針と整備計画に区分し、住民の意見を反映	
③ 治水対策の円滑化	調査の円滑化、情報統制、手続きの簡便化	
④ 治水事業制度	河川料、ダム資料料の簡便化	
⑤ 水質事故処理対策	関係者の協行及び負担	
⑥ 不法侵害対策	不法侵害船舶の売却、廃棄等の手続き整備	

No.130

新しい河川整備の計画制度

新しい河川整備の計
画制度
(74cm x 52cm)

